

平成26年度

全国学力・学習状況調査の  
結果について



海老名市立今泉中学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「数学に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「生徒質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5
(資料) 指導や学習・生活習慣と学力との関係	P. 6



# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査（平成23年度は震災の関係で実施を中止）でしたが、昨年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

## ◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

### 【小学校】

国語A・算数A（主として「知識」に関する問題）

国語B・算数B（主として「活用」に関する問題）

### 【中学校】

国語A・数学A（主として「知識」に関する問題）

国語B・数学B（主として「活用」に関する問題）

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

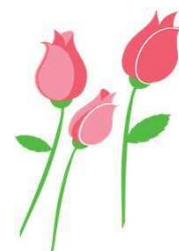
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成26年4月22日（火）



# 国語に関する調査結果

## 国語 A

(主として「知識」に関する問題)

### 《優れている所》

- 学習指導要領の領域における「話すこと・聞くこと」「書くこと」が特に優れている。
- 極端に正答率が低い設問や、無解答率が高い設問はない。無解答率の低さは、生徒たちの誠実に問題に取り組もうとする姿勢を表している。
- 漢字の読み書きに関しては、テストで扱った漢字の正答率が高い。
- 「叙述の仕方を確かめて、適切に書き換える問題」は特に正答率が高い。主語を把握し、必要な表現を考えて記述できる生徒が多い。
- 古典と昔話を対応させて、内容を捉えることができている。古典の内容を読み解く力が付いている。

### 《努力を要する所》

- 全体的によくできているが、読解力を必要とする問題の正答率が低めである。
- 「漢字・ことわざ・故事成語等」の、知識の定着を問う設問に対する、正答率が低めである。
- 「文字の大きさ、配列などに注意して書く」という設問では、普段から文字を書く際に意識できていないことが、正答率の低さにつながっている。

## 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

### 《優れている所》

- 学習指導要領の領域における「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関する設問の正答率が高い。
- 全体的に無解答率が低い。選択問題はもちろんのこと、記述問題にも取り組もうとする意識が高い。
- 記述問題では、十分ではないものの、正答の条件を取り入れながら記述できている生徒が多い。
- 「自分の考え」を求められている設問の正答率は、選択問題、記述問題ともに比較的高い。



### 《努力を要する所》

- 自分で工夫を加えて分かりやすく記述したり、根拠を述べた上で説明したりできるように、記述力を向上させる必要がある。
- 「複数の異なる記述方法の資料内容を読み取り、答えを導く設問」、「資料を比較して読み取り、要旨を捉える設問」の正答率が低い。資料を活用して内容を捉えるための読解力が課題である。

## 今後の具体的な取組

- 「漢字テスト」で学んだ漢字の定着が結果にも表れていることから、毎授業で行う「漢字テスト」は継続して行う。また、さらなる知識の定着を図るために、まとめテストも継続して行う。
- ことわざ・故事成語等の知識に関しては、興味をもって学べるように導入を工夫し、知識の定着を図る。
- 記述力に関しては、様々な問題形式の記述問題に取り組み、何を問われているかを読み取り、的確に記述できる能力を身に付けさせる。
- 読解力向上のため、今後も引き続き「自ら考える姿勢」を大切にして、読みながら要旨などを考えることを指導していく。
- 今後も継続して、授業内で文章を書く際に注意すべきポイントを、その都度示していく。

# 数学に関する調査結果

## 数学 A

(主として「知識」に関する問題)

### 《優れている所》

- 基本的な平面図形の性質を概ね理解している。
- 証明を読み、根拠として用いられている三角形の合同条件、証明のための構想や方針の必要性和意味についての理解度が高い。
- 連立二元一次方程式の解が、2直線の交点の座標として求めることができることについての正答率が高い。
- 全体的に無解答率が低い。半分以上の問題について無解答者はいない。

### 《努力を要する所》

- 指数を含む計算や正負の計算での正答率が低い。また、生徒の誤解答からも四則演算の規則の理解度が低いことがわかる。そのために数学的な技能の正答率が低くなっている。
- 図形など公式に当てはめて解く問題については、概ね理解できている。しかし、公式を利用して図などから読み取るような問題については、正答率が低い。
- 確率については、樹形図を用いて「場合の数」を求められた生徒が少ない。

## 数学 B

(主として「活用」に関する問題)

### 《優れている所》

- 与えられた図から情報を適切に選択し、空間における図形の位置関係を正確に捉え情報を的確に読み取ることができる。また、事象から問題解決の方法を説明することができる。
- グラフから必要な情報を読み取ることができている。また、グラフから事象に即した解釈をすることもできている。
- 全体的に無解答率が低い。問題に対して前向きに取り組んでいる生徒が多い。



### 《努力を要する所》

- 与えられた説明の筋道を読み取り、式を適切に変形することができない。また、誤解答から文字式の計算の規則を理解していない生徒も多いことがわかる。
- 不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができていない。
- 確率、または場合の数の数値や用語を理解できていない生徒が多い。

## 今後の具体的な取組

- 計算の技能の習熟を図るために、基本的な問題から繰り返し練習する機会を設ける。
- ただ単に公式を使うだけでなく、問題の状況をしっかりと捉えて、必要に応じて適切に活用できる力を身に付けさせる。そのために身近なものに置き換えたり、説明、記述をする時間を取り入れたりして授業を展開する。
- 学び合い活動や発言する機会を増やし、意見を発表・説明する活動を充実させる。

# 生徒質問紙の結果より

## 学習について

### 《よかった所》

- 「国語や数学の勉強が好き」と答えた生徒が多く、県・全国平均と比較しても学習に対する興味関心が高い。
- 「授業の中で分からないことがあったとき、授業中や授業後に先生に尋ねに行く」、「友達、家の人、学習塾の先生などに尋ねに行く」と答えた生徒が多く、分からないことをそのままにする生徒がとて少ない。
- 「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい」と答えた生徒が、県・全国平均と比較してとても少ない。

### 《課題と思われる所》

- 「学校の授業以外に、1日あたり塾や家庭でどれくらい勉強をしますか」という問いに対して、「3時間以上」など多くの時間を費やしている生徒が多い反面、「全くしない」「30分以下」と答えた生徒も多く存在し、学校以外の学習量が2極化の傾向にある。

## 生活について

### 《よかった所》

- 「学校に行くのが楽しい」と答えた生徒が全体の8割以上を示し、県・全国平均と比較しても学校生活に満足する生徒が多い。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と答えた生徒が全体の9割以上を示し、いじめに対する意識の高い生徒が多い。

### 《課題と思われる所》

- 「毎日、同じくらいの時刻に起きている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と答えた生徒が県・全国平均を下回り、起床時刻・就寝時刻が不規則な生徒が多い。
- 「普段、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりする時間」「ゲームをする時間」「携帯やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間」が、県・全国平均を大きく上回っている。
- 「友達に伝えたいことをうまく伝えることができる」「将来の夢や目標を持っている」と答えた生徒が全体の6割程度であり、県・全国平均を大きく下回っている。

## 今後の具体的な取組

- 生徒の興味関心を惹き付ける魅力的な授業を目指し、意図的・計画的な指導を継続して行う。
- 学習が遅れがちな生徒や学習内容の定着が十分でない生徒に対しての補助指導や丁寧な声かけ・相談等を継続して行う。
- 全校職員で校内研究テーマである「自分を大切にし、他の人を大切にする心を育む学習実践」をさらに進め、豊かな心を育てる指導を目指す。
- 情報リテラシー教育をさらに進め、情報に流されず適切にそれを活用する能力を伸ばす。また、保護者会や学校便り等で、家庭への協力を繰り返し呼びかけていく。
- 適切な人権意識の育成を目指し、入学時より生徒に指導してきた「権利と義務」について継続して指導する。
- 学校だけでなく、地域や家庭にも情報を発信し、共に今泉中学校の生徒の健全な育ちを目指す。

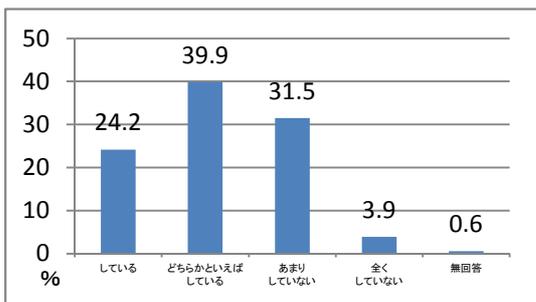
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

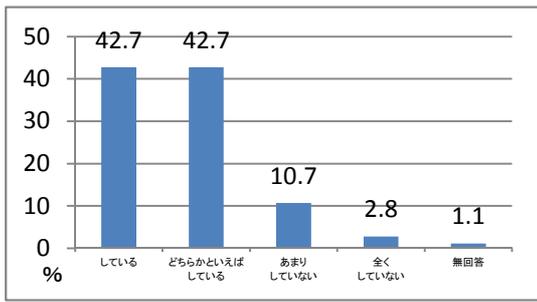
## 1 規則正しい生活習慣を大切にしよう。

「早寝・早起き・朝ご飯！」という合い言葉を聞いたことがありますか？平成22年度から「元気なえびなっ子プラン」として、平成29年度まで市をあげて実現に向けて取り組んでいる内容です。ご家庭での協力をお願いします。

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



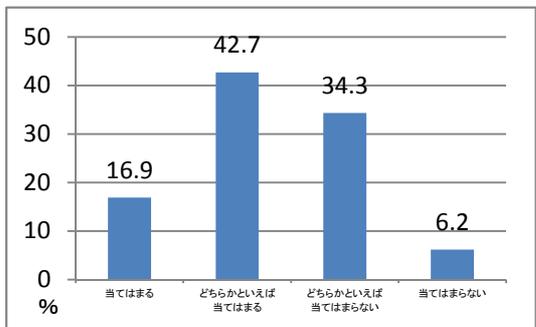
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



## 2 相手を尊重する気持ちを大切にしよう。

誤解や失敗を恐れずに、素直に気持ちを伝えようとするだけでなく、相手を尊重する気持ちを大切にしましょう。

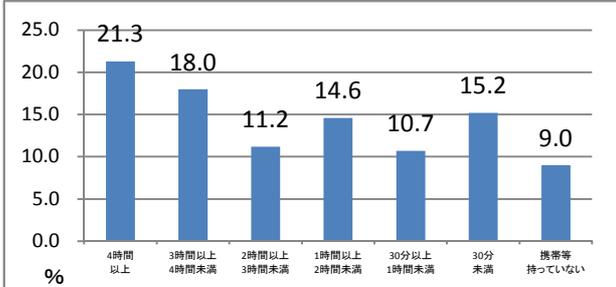
友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか



## 3 使用時間をきめてしっかり守ろう。

1日あたりの使用時間をきめて使わないと、なかなかやめられないものです。また、SNS(ソーシャルネットワークサービス)でのトラブルにも気を付けましょう。

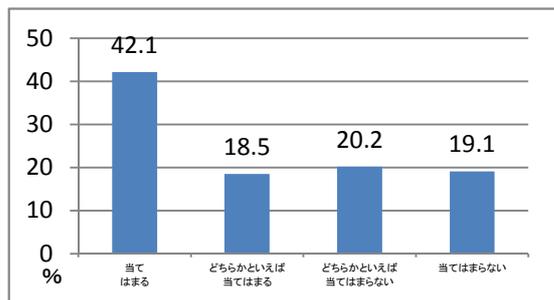
普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか



## 4 他者との関わりを通して学ぼう。

自分を知ることは、他者を知ることと同じように難しいことです。他者とのふれあいを通して、他者だけでなく自分を知ることもつながるはず。たくさんの人との交流を通じて、共に成長する気持ちを大切にしましょう。

将来の夢や目標を持っていますか



棒グラフは、各設問の回答率を表しています。

すこしずつ、できることから始めてみましょう。



## 資料

# 指導や学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ており、今後の指導や家庭・地域への呼びかけに生かして行きたいと考えています。

## 学校における指導と学力との関係

次のような指導を行った学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。  
さらに、学習意欲や家庭での学習時間等についても高い傾向にある。  
(教科に関する調査、学校質問紙調査より)

### 【指導方法・学習規律】

- ・ 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞くなど)の維持徹底
- ・ 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導
- ・ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与える
- ・ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導

### 【国語科・数学科の指導方法】

- ・ 発展的な学習の指導
- ・ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業、書く習慣を付ける授業、様々な文章を読む習慣を付ける授業
- ・ 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業

### 【言語活動】

- ・ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける
- ・ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導
- ・ 発言や活動の時間を確保した授業
- ・ 学級やグループで話し合う活動
- ・ 資料を使って発表ができるよう指導
- ・ 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導

### 【総合的な学習の時間】

- ・ 総合的な学習の時間における探究活動(課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導)

### 【家庭学習】

- ・ 調べたり文章を書いたりする宿題を与える

### 【研修】

- ・ 教職員が、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映

## 生徒の学習・生活習慣と学力との関係

次のような生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。  
(教科に関する調査、生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・ 国語、数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【家庭学習・読書】

- ・ 学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・ 自分で計画立てて勉強をする
- ・ 学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・ 読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

### 【学校生活】

- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・ 先生は、自分のよいところを認めてくれると思う

### 【基本的生活習慣】

- ・ 朝食を毎日食べる
- ・ 毎日、同じぐらいの時刻に寝る

### 【メディアとの関係】

- ・ 携帯電話やスマートフォンで通話・メール・インターネットをする時間が短い
- ・ テレビゲームをしている時間が短い

### 【家庭でのコミュニケーション等】

- ・ 家の人と学校での出来事について話をする
- ・ 家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

### 【社会に対する興味・関心】

- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある
- ・ 新聞を読んでいる
- ・ テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る

### 【自尊意識・規範意識】

- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・ 学校のきまり・規則を守っている
- ・ 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

# 「えびなっ子しあわせプラン」ってなあに？

「えびなっ子しあわせプラン」は今年度から平成28年度までの3年間の海老名市の教育プランです。

ひとりひとりの海老名の子どもが、将来、しあわせに生きるために必要な「3つの力」を小・中学校の義務教育9年間で、学校や家庭、地域の教育をとおして、確実に身につけることを目的としています。

## ◇◆しあわせに生きるために必要な「3つの力」◆◇

### 学 力

大人になっても学習をつづけるために  
基礎的な学力と学習意欲を身につけよう！



.....  
教員の授業力を高めます。（授業改善の取組）



.....  
小中一貫教育を進めます。（試行校での研究）



.....  
市費の教員やボランティアを配置します。

### 集団力

人間関係を作り、集団の中で自分の役割を果たし、  
自分を生かす力を身につけよう！



.....  
人間関係作りの学習計画を作成します。



.....  
いじめや不登校の問題に積極的に取り組みます。

### 健康安全力

自分の健康や安全に気をつけて、  
いつまでも楽しく生活する力を身につけよう！



.....  
体力・運動能力の向上をめざします。



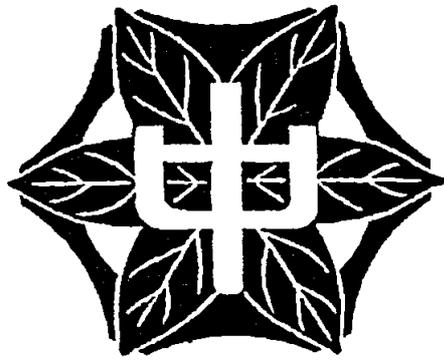
.....  
自分の命を守るための学習計画を作成します。

## 学校と家庭と地域がスクラムを組んで子どもを支えます



みなさまのご理解とご協力をよろしく申し上げます。

海老名市教育委員会



平成26年12月